

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次生 名草 恵里

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受けて平成29年3月4日から25日の三週間、オーストラリアのパーースを訪問したので、報告致します。滞在期間中は朝の8時45分から13時45分まで、Phoenix Academy という語学学校に通いました。また、午後から文法や発音を専門とした授業に参加したり、友達とショッピングに出かけたりしました。

2. Phoenix Academy

この語学学校は、perthの市内中心付近に位置しており、ホームステイ先からバスと電車で一時間ほどかかりました。授業後に友達とパーース市内を観光したりもでき、良い立地でした。韓国、日本、タイ、中国とアジア系の生徒が多く、女性の比率が高かったです。クラス分けは、英作文とマンツーマンのスピーキングテストで決まりました。授業では、スピーキングを中心に文法や語彙を学びました。自分の国の行事(成人式やお正月、クリスマスなど)のことを話し合い、色んな国の文化を知ることができました。また、昨日習った語彙をどれだけ覚えているかテストやゲーム方式で確認もしました。同じ日本人の学生とも、拙い英語でも話すことで、3週間と短い間でしたが、スピーキングの伸びを感じました。



火曜日と水曜日に、文法か発音の授業が自主参加形式でありました。どちらの授業も受けてみて、発音の授業が特に良いと思いました。普段発音していた単語の発音が実は違っていたということがわかり、驚きました。

ホストファミリー



3. 滞在先

滞在方法は、語学学校の学生寮への宿泊かホームステイのどちらかでした。オーストラリアの生活や文化を直接体験できる点と、訛りがあるオーストラリア英語を聞ける点・話せる点に惹かれ、私はホームステイを選びました。ホームステイ先は、ホストファーザー・マザーの二人家族で、一人部屋を貸してもらいました。ご飯は、朝はセルフで主に食パンにジャム・チョコレートを塗って食べました。平日の昼は、買っておいたパンやマフィン語学学校の友達と一緒に食べていました。休日は、ホストファミリーがサンドイッチを作ってくれ、夕食はチキンを中心とした料理が多かったです。焼き飯にカシューナッツやレーズンを入れていて驚きましたが、美味しかったです。クレイフィッシュ(伊勢海老)やラム(子羊)の料理が出てくることもありました。食後にケーキやフルーツやアイスクリームを食べ、紅茶を飲みながら、ホストファミリーとともにテレビを見ました。速く喋っていて何を話しているかわからない時は、簡単な英語でホストファミリーが説明してくれました。

4. 週末・授業後

語学学校が休みの土日は、ホストファミリーとビーチで泳いだり、少し遠い joondalup 駅のショッピングセンターや perth で買い物をしたりして楽しみました。perth の海はとても透き通っていて綺麗でした。空は日本の空より青かったです。ショッピングセンターは広く、一日でまわりきれないくらいのお店(映画館やカフェ、服屋、食べ物屋など)が並んでいました。授業後は、英国様式の建物が並ぶ London Court でお土産を探しました。金曜の授業後には、Fremantle に行きました。ここのマーケットは金土日限定で屋台が出ており、ジャーキーや果物が売られていました。また、西オーストラリア州では最も古い建造物である The Round House にも行きました。ここからは Fremantle の全景が見え、素晴らしい眺めでした。



Trigg Beach

散歩時の景色



Fremantle

perth の週末



5. 感想

たったの3週間の留学でしたが、とても有意義な期間だったと思っています。最初は、ホストファミリーや学校の先生が何を話しているか聞き取ることが出来なくて不安でした。でも、断片的に単語を聞き取れるようになった時、リスニング力が上がったなど少し嬉しくなりました。ホストファミリーも英語の上達と一緒に喜んでくれました。この留学で視野がより広くなり、自分の英語に自信がついたと実感しています。今度はもっと長い期間、留学したいと思っています。

最後に、国際交流基金の助成のおかげでこの素晴らしい機会を得ることが出来ました。とても感謝しています。ありがとうございました。